

2026年度日本味と匂学会第60回大会（岩手）のお知らせ

（第二報）

2026年度の日本味と匂学会第60回大会は、盛岡市民文化ホール（岩手県盛岡市）にて開催いたします。盛岡での開催は、2005年に北田泰之先生（岩手医科大学歯学部口腔生理学講座）が主催された第39回大会以来、21年ぶりとなります。会場の盛岡市民文化ホールは、盛岡駅から徒歩5分ほどとアクセスも良く、初めて盛岡に来られる方にも安心の立地です。開催時期の盛岡は猛暑も落ち着き、比較的過ごしやすい季節になるかと思えます。今年度のプログラムでは、嗅覚・味覚をテーマとした従来のシンポジウムに、オーガナイザーによる依頼講演だけでなく、ポスター発表として応募された一般演題の中からも数題を選び、口頭発表の機会を設ける予定です。さまざまな立場・領域の研究成果を持ち寄り、会員の皆様の間で活発な議論が生まれることを楽しみにしております。また、2028年のISOT開催を見据え、例年どおり英語のシンポジウムも充実させます。Young Scientist Symposium、Asian International Symposiumをはじめ、各種受賞講演やポスター発表など、多彩な企画を予定しております。最終日の市民公開講座は、同期間に盛岡で開催される日本哺乳類学会との合同開催といたします。両学会から、研究者の皆様にも一般の皆様にも関心を持っていただける演題をそろえておりますので、ぜひ最後までご参加ください。参加登録や演題登録などの詳細は、今後、年会ホームページ等で順次ご案内いたします。盛岡の風情ある街並みやおいしい食事を楽しみつつ、ぜひ現地で研究交流を深めていただければ幸いです。皆様のご参加を、大会運営委員一同、心よりお待ちしております。

2026年度日本味と匂学会第60回大会

1. 会 期：2026年9月9日（水）～11日（金）

2. 会 場：盛岡市民文化ホール
（岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1）
JR 盛岡駅から徒歩約5分

3. 大会参加費：

正会員 9,000円（当日11,000円）
学生会員 5,000円（当日6,000円）
非会員 10,000円（当日12,000円）

4. 懇親会：懇親会：9月10日（木）、ホテルメトロポリタン盛岡（盛岡駅前通1-44）
正会員 10,000円（予定）
学生会員 7,000円（予定）

5. 一般発表と日本味と匂学会優秀発表賞

一般発表はポスター形式で行います（ポスター掲示は、9月9日12時から9月11日12時となります。ポスター討論時間は、10日と11日に予定しております）。

優秀発表賞応募者*によるポスター発表につきましては、優秀発表賞（若干数）の審査を行います（要登録）。

*優秀発表賞※への応募者は以下の条件を満たしていることが規定されています。

- （1）生年月日が1981年4月1日以降であること
- （2）正会員または学生会員（臨時会員、臨時学生会員は応募できない）であること
- （3）大学などの研究機関（企業を除く）で職位を有する場合は、その職位は講師以下であること

- (4) 過去5年間に優秀発表受賞歴のある会員が再応募する場合は、発表内容の明確な違いを演題登録時に指定の様式で明記すること。

6. シンポジウム

- ▶ Olfactory and Taste Receptors: From Evolution to Neural Function (9月9日、13:00~14:35、英語セッション)
オーガナイザー：新村芳人(宮崎大学)、福田七穂(新潟大学)
1. 戸田安香先生(東京科学大学)「Functional Changes in T1R Receptors and Biological Diversity」
 2. 吉川敬一先生(花王株式会社)「An Assay Platform for the Human Odorant Receptor Family Using an Evolutionary Consensus Strategy」
 3. 福田七穂先生(新潟大学)「Post-transcriptional Regulation of Odorant Receptor mRNAs in Axon Targeting」
- ▶ Young Scientist Symposium (9月9日、14:50~16:25、英語セッション)
How Chemosensory Signals Are Detected, Transmitted, Evaluated, and Utilized
オーガナイザー：岩田哲郎(東京科学大学)・上野山怜子(岩手大学)
1. 永里侑貴先生(九州大学)「Investigation of Sodium Ion Permeation Mechanisms in the Capsaicin-Sensitive Channel TRPV1 Using in Silico Approaches」
 2. 堀江謙吾先生(岡山大学)「SNAP25 Controls Two Distinct Functions: Sour Taste Transmission and Maintenance of Type III Taste Cells」
 3. 勝島日向子先生(北海道大学)「Fatty Milk and Fat Taste Perception in Dolphins: Molecular and Behavioral Approaches」
 4. 寺田祐子先生(静岡県立大学)「Food Flavor Science Through Chemosensory Receptor Assays and Chemical Reactions」
- ▶ Asian International Symposium (9月9日、16:40~18:15、英語セッション)
オーガナイザー：小坂田拓哉(東京科学大学)、高井信吾(京都府立大学)
演題調整中
- ▶ 味覚シンポジウム (9月10日、9:00~11:00、日本語セッション)
オーガナイザー：川端二功(弘前大学)・若林篤光(岩手大学)
1. 佐藤祐介(東海大学)「なぜ生肉/レア肉は人々を魅了するのか？」
 2. 川端二功(弘前大学)「ニワトリにおける味覚と嗜好特性—哺乳類との類似性—」
- *一般演題応募者から選定
- ▶ 海外招待講演 (9月10日、17:00~18:00)
Peter Apps (Wild Entrust Botswana)「Debunking Chemical Images Turns Mammal Chemical Signals into Practical Tools and Enables Us to Talk to the Animals」
- ▶ 嗅覚シンポジウム (9月11日、9:00~11:00、日本語セッション)
オーガナイザー：中牟田信明(岩手大学)、福谷洋介(東京農工大学)
1. 佐久間敦丈(東京慈恵会医科大学)「公開シングルセルRNA-seqデータを活用した嗅覚器の初期発生機構の解明」
 2. 中牟田信明(岩手大学獣医学部)「カメ嗅覚器の解剖、発生、および嗅覚受容体遺伝子発現」
- *一般演題応募者から選定
- ▶ 市民公開講座 (9月11日、13:30~16:00) 共催：日本哺乳類学会
「味とにおいが語る 動物進化の物語」
オーガナイザー：宮崎雅雄(岩手大学)
1. 新村芳人(宮崎大学)「動物の環境への適応と嗅覚受容体遺伝子の進化」
 2. 上野山怜子(岩手大学)「においでたどるネコ科動物の進化—マタタビ反応の比較研究—」
 3. 近藤大輔(帯広畜産大学)「哺乳類のフェロモンを嗅ぐ進化と戦略—動物種それぞれに個性がある—」
 4. 佐藤淳(福山大学)「味覚はなぜ失われるのか?—食肉目哺乳類の遺伝子が語る進化史」

7. 2026年度日本味と匂学会賞・功労賞・研究奨励賞受賞講演

9月10日(木) 13:50~15:30

本年度の日本味と匂学会賞・功労賞および研究奨励賞の受賞者講演を行います。

8. 参加申し込み

参加登録は、大会ホームページ(準備中;URLはメーリングリスト等で周知予定)から行います。オンライン参

加登録（事前割引）：2026年5月25日（月）～8月16日（日）

オンライン参加登録（当日料金）：2026年8月17日（月）17：00～9月4日（金）

当日参加登録：2026年9月5日（土）以降は、会場での当日参加の登録をお願いいたします。

9. 一般演題および予稿集原稿登録

一般演題の申し込みは、大会ホームページより UMIN を用いてオンライン登録から行っていただきます。

開始：2026年5月25日（月）（予定）

締切：2026年7月17日（金）（予定）

*プログラム編集の都合上、締切後の登録および内容の訂正・変更はできません。

*事前に参加登録を済ませてから、演題登録をしてください。

10. 演題申し込み要領

（ア）一般演題発表資格

日本味と匂学会会則・附則第2条により、日本味と匂学会大会において実際に発表を行う口演者（ポスター発表説明者）には、会員の資格が必要です。まだ手続きをされていない方は、日本味と匂学会事務局（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻生物化学研究室 TEL 03-5841-5109（内線 25109）/FAX 03-5841-8024 E-mail: jasts@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）に連絡し、正（学生）会員あるいは臨時会員の入会手続きをしてください。日本味と匂学会ホームページ（<http://jasts.com/>）にも入会案内がございます。なお筆頭演者となるのは、一人一題に限ります。（参加のみの場合は、会員の資格は必要ありません。非会員参加費をお支払い下されば、どなたでも参加できます。）

*臨時会員について：日本味と匂学会大会におけるポスター発表のために会員登録をしなければならない方や、その他の理由で1年間だけ臨時に会員になる方を対象にしています。年会費は、正会員（6,000円）、学生会員（2,000円）と同一です。学会誌等の送付のサービスは、会費納入年度は一般会員と同じように受けることができます。

（イ）一般演題（ポスター）申し込みについて

演題申し込みは大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）のオンライン学会演題登録システムを利用して、ウェブ上で行います。指定ウェブページに記載の注意書きに従って、演題名等を入力してください。演題名・所属・氏名の英文表記も併せて入力してください。演題申し込み画面へは大会ホームページからリンクします。

*締切日はアクセスが集中することにより、サーバーに接続しにくくなる場合も予想されます。なるべく締切直前を避け、早めの登録をお願いいたします。

（ウ）口演発表（シンポジウム・受賞者講演）について

シンポジウムの抄録等の提出につきましては、大会事務局より連絡致します。UMIN のオンライン登録は不要です。ご注意ください。ご講演に関わる詳細につきましても、大会事務局より連絡致します。

（エ）Chemical Senses 誌用英文 abstract について

2022年度大会より論文集（プロシーディング集）の発行はなくなりました。また、Chemical Senses 誌には登録された英文タイトル一覧のみ掲載されますので、Chemical Senses 誌用の abstract 原稿の提出も必要ありません。

11. 演題発表日時の通知：

学会大会プログラム編成が完了した時点で、大会ホームページ上でお知らせ致します。

12. 特許について：

日本味と匂学会は特許法第30条第1項（実用新案法第11条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づく「特許庁長官が指定する学術団体」です。本学会の大会において文書を以て発表し、

（1）その発表した日より6ヶ月以内に（大会プログラム・予稿集発行の日より起算）、その発明者が実用新案または特許について『特許法第30条第1項の適用』を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

（2）さらに、その発明・考案が『本学会の大会で発表されたものであることを証明する「本学会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出する時』は、その発明・考案は新規性を失わないと認められるこ

とになっています。この際、大会プログラム・予稿集に記載のないことがらについての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本学会に提出することになります。それには

- (イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作成して、予め大会長に提出し、発表後、口頭あるいはポスター発表したことの事実を大会長に「確認」してもらいます(大会プログラム・予稿集のコピーのみを特許庁に提出される場合は大会長の確認は必要ありません)。
- (ロ) 大会長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、上述の「文書」とともに予め大会長に提出します。
- (ハ) 出願者が本学会発行の証明書の特許庁長官に提出するときには、大会長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)のほか、下記に示すような「証明書」(学会の控え1通を含む2通)を作成して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付け)を同封し、本学会宛てその証明を請求して下さい。本学会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送致します。

証明書の例

証 明 書
令和8年〇月〇日
特許庁長官 〇〇 〇〇 殿
日本味と匂学会 会長 東原 和成
令和8年9月〇日に開催された2026年度日本味と匂学会第60回大会において、岩手太郎は、添付の文書をもって発表したことを証明いたします。
記
発表日時：令和8年9月〇日 発表場所：盛岡市民文化ホール 発表番号：(例：P-20) 発表者および演題：岩手太郎 「・・・・演題・・・・」

確認書の例

確 認 書
令和8年〇月〇日
日本味と匂学会 御中
日本味と匂学会第60回大会 大会長 宮崎 雅雄
2026年度日本味と匂学会第60回大会において、添付の文書の通り発表があったことを確認いたします。
記
発表日時：令和8年9月〇日 発表場所：盛岡市民文化ホール 発表番号：(例：P-20) 発表者および演題：岩手太郎 「・・・・演題・・・・」

- (注) 1. 発表者が連名の場合は「確認書」、「証明書」、「文書」とも全員の名前を記入すること。
2. 発表後に特許出願の必要が生じ、後日、大会長による発表確認が必要な場合は発表者が直接大会長にご連絡ください。

13. 大会ホームページ

準備中(5月初旬に開設予定。学会員メーリングリスト等で周知します。)

14. 日本味と匂学会第60回大会事務局および問い合わせ先

大会事務局

岩手大学農学部生命科学科 分子生体機能学研究室

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-8

E-mail: iwate.biomol@gmail.com

※大会事務局へのご質問等はE-mailにてお願いいたします。

2026 年度日本味と匂学会研究奨励賞候補者公募のご案内

日本味と匂学会では、味と匂の研究に従事し、顕著な業績をあげると共に、将来学会への多大な貢献が期待される研究者に、日本味と匂学会研究奨励賞を贈呈します。つきましては、下記の要領で受賞候補者を公募致しますので、ご案内申し上げます。

1. 対象者

味と匂および関連する研究領域で、顕著な業績をあげると共に、将来本学会への多大な貢献が期待される若手研究者（原則として2名以内）に贈る。

応募資格

- (1) 受賞年度4月1日において、通算2年以上の会員歴があること。
- (2) 味と匂および関連する研究領域に関する3編以上の英文原著論文を公表し、そのうち1篇は筆頭著者であること。
- (3) 受賞年度内に満46歳未満もしくは学位取得後15年以内であること。
ただし、以下の理由により研究活動の休止期間がある場合は考慮するので、休止の理由・期間を明確に記載した履歴書を応募締め切りの3週間前までに事務局に提出し、応募資格について問い合わせること。
 - ・ライフイベント（産休・育休・介護休暇など）
 - ・激甚な災害（感染症のパンデミックを含む）、不測の事態など

2. 必要書類

氏名、所属、生年月日、学歴、研究歴（別紙でも可）、現在までの研究の概要（別紙でも可）、発表論文リスト（別紙でも可）、日本味と匂学会および主要関連学会（ISOT, AChemS, ECRO など）における発表のリストを記載したA4サイズのWordファイルまたはPDFファイル。

3. 応募方法

自薦あるいは他薦のいずれも受け付けます。応募者は、必要書類を下記のE-mailアドレス宛にお送り下さい。他薦の場合の推薦者は、正会員または名誉会員に限ります。推薦者は、署名（電子署名可）あるいは捺印された推薦書1部を親展として日本味と匂学会事務局宛に郵送するか、署名（電子署名可）あるいは捺印された推薦書のPDFファイルをE-mailで事務局までお送り下さい。

4. 応募締切日

2026年5月29日（金）必着

5. 送付先

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 生物化学研究室
日本味と匂学会事務局
（会長）東原和成
TEL: 03-5841-5109 FAX: 03-5841-8024
E-mail: jasts@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

6. 受賞講演

日本味と匂学会研究奨励賞受賞者には、2026年9月9-11日に岩手県で開催されます、日本味と匂学会第60回大会で受賞講演を行っていただきます。

7. 学会誌への総説寄稿

日本味と匂学会研究奨励賞には、ご自身の研究内容をまとめた総説を日本味と匂学会誌に寄稿していただきます。

2026 年度日本味と匂学会賞・功労賞受賞候補者推薦のお願い

日本味と匂学会では、味と匂の研究に多大な功績の認められる会員に、日本味と匂学会賞あるいは功労賞を贈呈します。つきましては、下記の要領で受賞候補者を公募致しますので、ご推薦をお願い申し上げます。

1. 対象者

1) 日本味と匂学会賞

本会の会員として味と匂の研究において、学問的に顕著な業績をあげると共に、学会発展のために、多大な功績の認められるもの（原則として1名）。

2) 日本味と匂学会功労賞

味と匂の研究に関する特定の専門領域において、学問的に多大な貢献があったと認められるもの、本会の活動・運営に多大な功績が認められるもの。

注) 学会賞と功労賞の重複受賞は認めない（学会会則付則第6条第8項）。

2. 必要書類

1) 推薦書

下記の事項を記載して下さい。

学会賞・功労賞 受賞候補者

氏名、所属・職名、連絡先、推薦理由

推薦者

氏名、所属・職名、連絡先

2) 候補者の経歴書

3) 研究業績リスト

（英文著書、和文著書、英文原著、英文総説、和文総説、招待講演）

4) 学会賞：味と匂の研究への貢献および本学会の発展への功績について

功労賞：本学会の活動・運営における功績について

3. 推薦方法

署名（電子署名可）あるいは捺印された必要書類各1部を親展として日本味と匂学会事務局宛に郵送するか、署名（電子署名可）あるいは捺印されたPDF ファイルを E-mail で事務局までお送り下さい。

4. 提出締切日

2026 年 5 月 29 日（金）必着

5. 送付先

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 生物化学研究室

日本味と匂学会事務局

（会長）東原和成

TEL: 03-5841-5109 FAX: 03-5841-8024

E-mail: jasts@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

6. 受賞講演

日本味と匂学会賞・功労賞受賞者には、2026 年 9 月 9-11 日に岩手県で開催される日本味と匂学会第 60 回大会で受賞講演を行っていただきます。